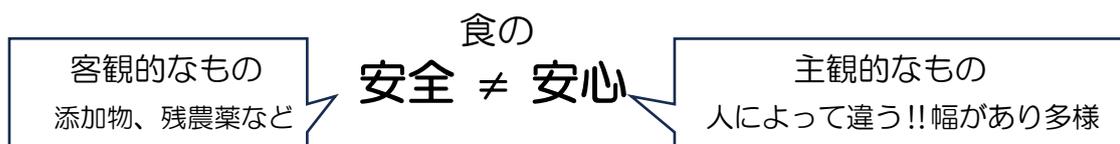


探究 PF II C

データ活用セミナー

令和7年1月17日（金）に、活水女子大学 健康生活学部 食生活健康学科の池田光彦先生を講師としてお招きし、2年生家政科を対象とした「データ活用セミナー」を開催しました。



食の安全・安心について考えるには、「データ（人や物や事象に関する定性的または定量的なもの）」と向き合うことが必要不可欠です。

大切なのは、

そのデータが「何を物語っているのか」を読み解くこと。



講義の様子



どのようなデータがあるか
意見を出し合う様子



次に、

そのデータを定量的なもの
と定性的なものに分類していく

次は、データの可視化 データをどう表現するかについてです。

① ヒートマップ

食品成分データベースを使って、さまざまな穀類に含まれる必須アミノ酸の含有量のデータを Excel にダウンロードして表にし、値が大きいほど濃い色になるもので、わかりやすい表になりました。



② ダッシュボード

すでに可視化されたものが公表されているもので、農林水産省統計データにアクセスしどのようなものがあるか確認しました。

生徒からは、「課題研究で最大限に生かしたい」、「データを読み解くよう意識していきたい」などの声があり、課題研究がより具体的になってきました。